

## 電子キーボードがつなぐICTと学校音楽 ～その課題と展望～

氏名 安井 正規

ICT活用というと一般的にはタブレット端末や電子黒板を使用した授業、それらに関連するハードやソフトの開発といったイメージがある。しかし研究校でない限り、そもそも学校現場、特に音楽の授業においてタブレット端末や電子黒板が普及していないのが実情であり、そのような状況の中でタブレットや電子黒板などICT機器を活用した音楽授業を推進しようとしても研究実践としては結果を出せても、一般普及は困難を伴うのではないかと考える。

また、現在、公立小中学校においてかなりの割合でICT機器の一つである電子鍵盤楽器が普及しているものの、有効的に活用されていないのではないかと考える。

今回の研究発表では、こうした現状を踏まえた上で、現場の先生達にヒアリングを行い、なぜ、このような問題が起こるのか原因を究明し、打開策を考えたい。

### <研究発表概要>

- 1、なぜ、公立小中学校（音楽科）でタブレット端末や電子黒板が普及しないのか？
- 2、公立学校における電子鍵盤楽器の普及率と問題点
- 3、学校教育で電子鍵盤楽器を活用するメリット
- 4、公立学校教員向けの講演会や研修会における電子鍵盤楽器レクチャー実践について。
- 5、今後の課題と展望。
- 6、質疑応答

### <学校教育機関や教育研究会でのこれまでの活動>

- 1、電子オルガン演奏者として名古屋市内及び近隣地域の幼稚園、保育園、小中学校、高校、大学でのコンサートやゲスト演奏70校程度。
- 2、名古屋市音楽教育研究会総会、愛知県音楽教育研究会例会にて講演、全国小学校管楽器教育研究大会懇親会ゲスト、教員研修セミナー講演、春日井市音楽研究会にてワークショップ&講演など。